

第6期

# 令和3年度 事業報告書

自 令和3年 4月 1日  
至 令和4年 3月 31日

社会福祉法人 なずな

理事長 徳 竹 順 一

# 1 法人の実施する事業概要 沿革

## ○ 地域密着型特別養護老人ホーム そのさと 設立経過他

当地域の高齢化率は2015年に30%を超え、(2020.4月31.5%)全国平均を常に4%程度上回り推移しています。今後も、高齢者人口の増加が見込まれる中、IT社会による雇用人材の減少等で社会経済の激変が予想され、高齢者福祉を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。今後益々支援が必要な要介護高齢者が増加する中で、住み慣れた環境で、自宅と変わらない状況で暮らせる仕組みづくりが求められています。そこで、こうした時代の要請に応え、地域の高齢者が安心して暮らし続けられる社会の実現に寄与すべく、関係各位のご支援の下、2016年(平成28年)に社会福祉法人の設立に至りました。

当法人は、隣接法人の宅幼老所「なずな豊丘」の家屋所有者である駒澤貞弘氏(業務執行理事)のご厚志により畑だった現在の土地の寄付の意向を受けたご縁が始まりです。

駒澤氏は多年にわたり会社勤務の傍ら本地で農業を行い、定年後は須坂市社会福祉協議会や地元(南小河原町)でボランティア活動を積極的に行い、隣接の宅幼老所(駒澤様より借り受け)への支援を通じ、福祉全般に対する強く熱い思いが今回の法人設立の基盤になっています。また、理事長の徳竹順一氏は、平成22年より駒澤様より宅幼老所を借り受けデイサービス事業を経営しておりましたが、駒澤様の強い意志とご支援(土地の寄付)を受けたことを機に、徳竹氏も法人設立のために1千万円の寄付金を供出し、駒澤氏とともに法人設立に関与し、多くの支援者の協力のもと、今日に至りました。

須坂市が平成24年度に公募した地域密着型老人福祉施設(小規模特別養護老人ホーム)整備予定事業者に応募しましたが認められず、3年後の平成27年度に再び公募があった時に再応募し、平成28年2月に事業者決定を受け、平成28年7月に法人を設立しました。

「大切な人を心から想い、感謝の気持ちで接します」という法人社訓を元に、施設理念「自分の家」、全体方針「私達は、常に学習し、高い倫理観を持ち、日々生活する皆様に対し、家庭的な共同生活のもと、一人一人を主役とし、自宅で暮らしていた時と大きく変わることはないような生活スタイルを守り、尊厳をもって役割を担い暮らし続けることができるよう、日頃の生活を見守りながら、いつもそっと寄り添いながら支援を行います。」を実践し、地域の皆様が安心して暮らせる介護施設を開設するため、何度も設計を見直し、関係機関とも議論を重ねながら、市や県の担当部署と確認をとりながら建設準備を進めてまいりました。

当初の予定では、平成28年度中に完成、平成29年度4月開設を目指しておりましたが、農振除外に6カ月の予定が8ヶ月(H28年2月に申請、10月の許認可)を要し、その後農地転用に1ヶ月(H28年10月申請、11月許認可)かかり、すぐに入札を行い、工事開始の予定が、教育委員会より該当地区が埋蔵文化財包蔵地(内山遺跡)に相当するので、試掘調査が必要との事で、更に1ヶ月を要しました。ようやく12月23日に地鎮祭を行い、工事着工を始めた矢先の1月15日からの記録的な大雪(累積で60センチ以上)により、更に3ヶ月程度工事スケジュールが伸びてしまい、当初12月開所予定(8ヶ月遅れ)で準備を進めておりましたが、平成29年4月に補助金の関係で問題が発生し、急遽11月20日完成予定の工事を、工事業者(中野土建様)にお願いし、何とか工期を2カ月早め、9月20日完成予定で工事を進め完成に至りました。また、工期短縮の影響で、人材確保にも一定の期間をもてずに短期間での職員募集となり、不安もありましたが、法人理念に共感する人材が多く集まり、約1カ月の教育研修を経て平成29年10月20日の開所に至りました。

その後、少しずつ入居者が増え、平成30年5月に満床（29床）となり、職員も入居者家族も当所での暮らしに徐々に慣れ、平成31年5月に年号が令和に変わり、満床後約3年半が経ちました。その後、全世界的に猛威を奮う新型コロナウイルスの影響で、令和2年2月中旬よりご家族様の面会制限及び、ボランティアや業者等の入所制限を行っており、令和3年5月現在も入居者及びご家族の皆様にも面会を解除できない状況が続いています。（※風除室内の戸越の面会や、ビデオ通話等は可能にはなっています）

令和2年度中には、国が例年実施している「地域介護・福祉空間設備等施設整備事業」について福祉避難室（災害時の福祉避難者の受け入れ）&感染症者特別隔離室（新型コロナウイルス等感染力の強い疾病の疑いがある入居者の隔離室）の対応目的で応募し採択され、令和2年12月に着工し、令和3年3月20日に竣工し、そのさと地域交流スペース「縁」（※リビング及び2居室）として面会や会議等で活用しています。

令和3年度中には、令和2年度と同じ「地域介護・福祉空間設備等施設整備事業」のメニューの中で、非常災害時対策用として自家発電装置の申請を行い、2年連続して補助金の採択を受けることが決定し、令和4年3月18日に竣工接続テストを行い、稼働が始まりイザという時の安心につながることができました。

## 2 行政指定関係

種 別	認可権者	認可・指定年月日等
社会福祉法人認可	須坂市	平成28年7月15日
地域密着型特別養護老人ホーム設置認可	長野県	平成29年9月28日
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護指定 介護保険指定事業者番号 2090700085	須坂市	平成29年10月1日

## 3 事業等概要

### ① 入居状況

※平均稼働率（単位：％）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	100	97.0	100	97.3	96.8	98.2	98.2	99.9	96.2	94.8	99.0	99.1	98.0

・退居者5名 退居から入居までの平均日数17.6日

・入院者数8名 平均入院日数14.3日

### ② 入居者構成比（平均要介護度3.4 平均年齢87.9歳）※令和4年3月31日現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男性	女性
0人	2人 (6.9%)	15人 (51.7%)	10人 (34.5%)	2人 (6.9%)	6人 (20.7%)	23人 (79.3%)

・待機者の大半が要介護3か4である。

・病院から入居される方が多く、入院中の認定では介護度が高く出るが、施設入所し落ち着いたことで1年後の変更の際に介護度が低くなることが多い。

・職員が「暮らしの継続」を目標にケアにあたっている成果。ADL（日常生活動作）が維持されている。

・施設の受け入れ態勢を考えると、要介護5の方の入居になかなか踏み出せていない。

### ③ 介護事故報告

#### ※1 介護事故（月平均 約 23.7 回）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	11	8	6	10	13	24	38	38	41	29	31	35	284

#### ※2 ひやりはっと（月平均 約 9.6 回）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	15	7	3	10	11	14	10	13	6	9	11	6	115

- ・N様が4月16日から拘束解除され、11月の終わりから青山外部講師のアドバイスを受け、現在のような自由に動ける居室配置にしている。その頃から転倒が増えているため事故件数も増えている。
- ・E様、S様、K様、S様の内出血が以前より多く見られていた。介護方法のミスが原因のものもあるが、高齢による皮膚や血管のもろさが原因と考えられるものもかなりの件数見られた。報告書としてどこまで上げるのかが明確ではなかったが、10月から報告の方法が統一され、どんな原因が考えられるにしろ小さいものから全て上げるようになったため内出血の件数が突然増えたようなかたちになっている。

### ④ 看取り介護実施状況（通算合計 16名）

- ※1 平成30年 5月14日 1名
- ※2 平成30年 10月16日 1名
- ※3 平成31年 1月28日 1名
- ※4 平成31年 1月31日 1名
- ※5 令和元年 6月14日 1名
- ※6 令和元年 7月24日 1名
- ※7 令和2年 1月14日 1名
- ※8 令和2年 6月4日 1名
- ※9 令和2年 6月12日 1名
- ※10 令和2年 8月1日 1名
- ※11 令和2年 12月8日 1名
- ※12 令和3年 1月19日 1名
- ※13 令和3年 5月4日 1名
- ※14 令和3年 5月10日 1名
- ※15 令和4年 1月27日 1名
- ※16 令和4年 3月28日 1名

### ⑤ 身体拘束

#### ※1 Y字ベルト 1名（要介護4 79歳 女性） 令和2年4月8日開始

- ・切迫性 常時体を屈曲させた状態にいるため、頭から転落されることが多い。自分でやりたい思いが強いが、病気による認知力の低下から危険予測ができず、また体を動かすことも大変になってきているため、転倒・転落事故を繰り返している。令和2年2月6日に転倒により右肋骨骨折。4月4日には同じく転倒により左鎖骨を骨折されている。
- ・非代替性 ご家族が予防にと車いすに装着できるクッション等を用意してくれていたが、車いすごと転倒されてしまった。居室で過ごされている時に車いすからの転落が多かったため畳対応に変更したが、1人で立ち上がろうとして転倒し肋骨を骨折される。骨折後は再びベッドに戻したが、骨折の痛みがほとんどなく多動となり、再び転倒が増えた。
- ・一時性 骨折部が治るまでは安静指示が出ていたが、痛みもなく安静の理解も乏しかったためいつものように動いてしまっていた。骨折が完治するまでとして身体拘束を開始した。

※ 解除までの状況 骨折は完治し、荷重制限等もなく過ごされている。

パーキンソン病の進行が顕著に見られ、体の動かしづらさや幻覚の訴えが増えている。そのストレスからか情緒不安定な様子が見られ、泣き出されることが頻繁に見られるようになった。

ご自分でしたいことも沢山あり、出来ると思う気持ちが強いが、反面危険意識は低く、そこに幻覚による混乱も加わり、危険を伴う行動を繰り返してしまっている。

対応として、今までは本人の気持ちを尊重して本人に任せていた居室の整理を職員も一緒に行ったり、リビングで手伝い等の役割を持っていただくことで、拘束解除時間が大幅に伸び、全く拘束をしない日も多くなっていった。

3月22日から超低床ベッドを導入し、移乗動作が本人に負担なく行えるようになり、居室での昼対応も無理なく継続できるようになった。

上記を踏まえ、長女様にも了承いただき、令和3年4月16日付けで身体拘束を完全解除とすることとした。

#### ⑥ 家族面会状況

新型コロナウイルス感染予防のための厚労省の通達により令和2年2月25日から面会を感染状況に合わせて制限または禁止としています。(面会の対応方法：風除室でのガラス戸越しの面会・地域交流スペース「縁」でのアクリル板越しの面会・オンライン面会)

ただし、看取り対応となられている入居者様については居室内で20分の時間制限を設けて面会可能としています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
風除室	0	0	6	12	3	9	5	5	4	4	16	19	83人
縁	0	0	0	0	0	10	28	29	27	27	0	0	121人
オンライン	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1回

#### ⑦ 法人運営関係会議・役員会・評議員会等開催状況

※1 5月20日 監査

※2 5月27日 役員会(理事会)第1回

※3 6月10日 評議員選任・解任委員会

※4 6月17日 評議員会 第1回

※5 6月17日 役員会(理事会)第2回

※6 9月13日 役員会(理事会)第3回

※7 12月14日 役員会(理事会)第4回

※8 3月22日 役員会(理事会)第5回

※4 4月4日 評議員会 第2回(※当初3月29日開催予定 職員1名がコロナ感染により急遽日程変更となった。)

#### ⑧ 行事関係等

※1 誕生会(各ユニット毎に毎月開催)

※2 4月中 お花見ドライブ

※3 4月16日 ユニットのを超えてお食事会

- ※4 4月27日 お楽しみ食事(かしわ餅風あんぱん)
- ※5 5月3日～5日 菖蒲湯
- ※6 5月8日 外でお茶会
- ※7 5月26日 お楽しみ食事(お好み焼き)
- ※8 5月28日 バーベキュー
- ※9 6月10日～17日 バラ湯
- ※10 6月13日 梅雨DE運動会
- ※11 7月13日 お楽しみ食事(おやき)
- ※12 7月25日 お楽しみ食事(流しそうめん)
- ※13 7月28日 お楽しみ食事(ソフトクリーム)
- ※14 8月7日 お楽しみ食事(カフェでお祭り気分を味わおう)
- ※15 8月13日 迎え盆
- ※16 8月16日 送り盆・花火
- ※17 8月16日 お楽しみ食事(かき氷)
- ※18 8月29日 お楽しみ食事(バイキング)
- ※19 9月19日 お楽しみ食事(おはぎ)
- ※20 9月20日 敬老会
- ※21 10月14日～16日 りんご湯
- ※22 10月16日 りんごパーティー(アップルパイ・りんごジュース)
- ※23 10月17日 きのこフェス
- ※24 10月26日 小布施の栗ケーキを味わおう!
- ※25 10月31日 お楽しみ食事(ハロウィンおやつ)
- ※26 11月4日 キッチンカーがやって来る!
- ※27 11月14日 焼き芋大会
- ※28 11月19日 お楽しみ食事(かっぱ寿司)
- ※29 11月28日 ことわざかるた大会
- ※30 12月24日 クリスマスパティー
- ※31 12月31日 忘年会
- ※32 1月5日 餅つき大会
- ※33 1月6日 まゆだま作り
- ※34 1月14日 お楽しみ食事(ワンタンスープ)
- ※35 1月20日 寿商店(いなり寿司・ちらし寿司・茶碗蒸し)
- ※36 1月29日 新年会
- ※37 2月14日 ハッピーバレンタイン!
- ※38 2月16日 寿商店(おでん)
- ※39 2月19日 お楽しみ食事(チョコレートフォンデュ)
- ※40 3月1日～31日 「今日は私も晴れ姿」
- ※41 3月3日 ひな祭り
- ※42 3月8日 お楽しみ食事(手打ち蕎麦)
- ※43 3月15日 お楽しみ食事(クレープ)

## ⑨ 各種職員連携会議・専門委員会

- ① よりあい（多職種連携会議） 3週間に1回開催
- ② ユニット会議（豊・寿・福） 毎月1回開催
- ③ 各種委員会（①感染・看取り ②事故防止 ③虐待・身体拘束・接遇 ④食事・口腔ケア）

## ⑩ 避難訓練（年2回実施）

万が一の火災や自然災害の発生に備えて行う訓練を消防署の協力の下で実施

- ※1 令和3年9月8日 避難・通報・消火訓練
- ※2 令和4年3月4日 避難・通報訓練

## ⑪ 職員研修関係

職員の資質向上を図るために、各種内部研修、外部研修への参加を求め、希望や参加者アンケートも実施しながら実施して参りました。交代勤務の為、内部研修の全員参加が難しいのですが、同日に2回開催する等の工夫により参加率を高めるよう配慮している。

- ※1 4月6日～20日 身体拘束・虐待防止研修【動画視聴】（全職員）
- ※2 7月8日 青山講師研修 第1回【全5回】（全職員）
- ※3 9月16日 青山講師研修 第2回【全5回】（全職員）
- ※4 10月12日 轟歯科 口腔ケア研修（食事・口腔ケア委員対象）
- ※5 10月22日 杉山労務士によるリーダー研修（施設長・リーダー対象）
- ※6 10月29日 徳竹理事長による施設開設5周年記念講演（全職員）
- ※7 11月9日 青山講師研修 第3回【全5回】（全職員）
- ※8 12月10日 接遇委員会研修（全職員）
- ※9 12月20日 青山講師研修 第4回【全5回】（全職員）
- ※10 2月15日 身体拘束・虐待防止委員会研修（全職員）
- ※11 2月27日・3月5日 事故防止委員会研修（全職員）

### 【青山幸弘講師プロフィール】

青森県出身。保育士を経て介護職となる。

2001年、おむつをしない、機械浴に入れない、閉じ込めない、薬に頼らない、をモットーにした介護アドバイザーになることを決意し独立。

2004年、介護アドバイザー会社「ケアプロデュースRX組」を設立。

腰を痛めない介護技術指導や、ゆったりとお年寄りと関われる介護業務改革など、独自の介護術と理論が反響を呼び、全国各地の施設から介護指導のオファーが寄せられているケア・アドバイザーの第一人者。

出演番組：NHK「ためしてガッテン」・Eテレ「楽ラクワンポイント看護」

## ⑫ 外部評価関係

### 1 地域運営推進会議開催状況（偶数月開催予定）

概ね2ヵ月に一度の頻度で開催。委員構成メンバー（入居者様代表・ご家族様代表・区長・民生委員・市保健補導員・市高齢者福祉課担当者・第三者委員等）が一堂に会し、施設の運営状況を地域住民等にお知らせし、地域に密着した介護施設の理解を深めてもらう為の会議

## ※ 開催状況

令和2年2月20日以降、新型コロナウイルス感染予防のため書面による報告となっていた。

10月22日に再開したが、その後再度の感染拡大見られ12月18日実施予定の会議は書面による報告となった。

令和3年2月25日再度再開。しかしその後県内での新型コロナウイルス感染拡大見られ、4月開催分も書面による報告となる。

6月25日再開。その後全県において感染拡大。長野県域も警戒レベル5となり、8月分は書面報告となる。

10月26日、12月17日開催。令和4年の年明けよりオミクロン株の感染急拡大により、長野県にまん延防止等重点措置が適用となる。2月開催分は書面報告となる。

## 2 第三者委員による、入居者訪問、聞き取りの実施

(新型コロナウイルス感染予防による施設立ち入り制限中のため休止中)

## 3 須坂市介護相談員訪問活動(2名づつ交代制)

須坂市より委嘱された外部有識者による介護相談員が市内の各介護保険施設を訪問し、入居者より暮らしの状況を聞き取り調査し、施設へ伝え入居者の為の質の改善等を提言する活動。

## ※ 来所状況

令和2年3月より新型コロナウイルス感染予防のため一時中断。令和2年6月より再開。6月19日、8月11日、10月21日と来所してもらう。

令和2年12月に県内の新型コロナウイルス感染拡大のため施設内への部外者立ち入り禁止となり、令和3年8月まで中止とする。

令和3年10月4日、11月11日 長野県域の感染警戒レベルが3となったため再開。

令和4年1月、まん延防止等重点措置が適応となり、解除後も警戒レベル5が続いているため現在まで中止している。

## 4 介護サービス情報公表制度「福祉介護べんり帖」への情報公開の実施

長野県が実施する介護事業所の内部情報の公開制度、一般市民が気軽に情報を知ることが出来る仕組み。(公開中)

## 5 社会福祉法人監査

令和3年5月20日(※新型コロナウイルス感染予防による施設立ち入り制限中のため会計事務所で実施)

## 6 長野保健所巡回指導

(新型コロナウイルス感染予防による施設立ち入り制限中のため中止)

## ⑬ 入居判定委員会 開催

外部の第三者委員2名を含む理事長、第三者委員、施設長、生活相談員、ケアマネージャー、看護師、ユニットリーダーの構成による判定会議。(※2ヵ月に1回開催)

※ 開催状況：4月21日開催。6月、8月新型コロナウイルス感染拡大のため第三者委員を含めての委員会は開催できず、よりあい内で職員のみで開催する。

10月22日再開したが、12月と2月も感染拡大のため委員会は開催できず、その後は月2回あるよりあい内にて実施中。

⑭ 須高地区合同会議（須坂やすらぎの園にて開催）

市内の介護保険施設等の主に生活相談員が集まり意見交換を行っている会議への参加

※ 開催状況：新型コロナウイルス感染予防のため令和2年2月19日開催後中止となっている。

⑮ 新型コロナウイルスワクチン接種状況

※ 1、2回目

5月18日（火）より、松澤先生の往診時に入居者・職員3グループに分かれ接種開始。

6月22日、全てのグループが2回の接種完了。

入居者28名、職員30名が接種。

接種後、熱発された入居者が数名いらっしゃったが、その後全員復調されている。

※ 3回目

1月25日より、松澤先生の往診時に入居者様・職員4グループに分かれて3回目のワクチン接種開始。

2月15日、接種完了。接種後体調不良が見られる入居者様はいなかった。

⑯ 施設職員の新型コロナウイルス感染経緯

そのさとは、長野県・長野市事業の「高齢者施設等の従事者等に対する新型コロナウイルス感染症に係わる検査事業」に申込み、3月から毎週全職員がPCR検査を行っていた。

3月22日（火） 当該職員公休日。起床後、喉の痛みを感じ心配になったため施設へ連絡。看護師より病院受診の指示を受け、かかりつけの病院を受診するも、「本日は対応できないため、明日受診してほしい。」と言われる。

3月23日（水） 当該職員日勤。勤務前に抗原検査を行い陰性だったため勤務に入る。念のため、マスクを2重にする。  
長野県事業のPCR検査（第4回目）を受ける。

3月24日（木） 当該職員夜勤入り。

3月25日（金） 夜勤明け。

3月26日（土） 当該職員公休。

3月27日（日） 長野県事業のPCR検査（第4回目）の結果がメールで届く。  
当該職員の陽性が判明。公休日だったため施設長より連絡する。  
全職員へ職員1名陽性となったことを報告。外出を控えるよう指示する。  
勤務に入る職員は2重マスク着用。ユニット間の行き来は最小限とし、休憩は1人1人とることを指示する。

収束の指示を受けるまでの期間の会議、勉強会等は全て中止とする。

入居者ご家族様へ報告。

長野保健所へ連絡するも休日のため連絡つかず。

3月28日（月） 長野保健所と連絡が取れ指示を受ける。  
当該職員は発症日（3月22日）から10日間の自宅療養となる。  
入居者様・職員全員が接触者と判断され、明日PCR検査を受けることとなる。須高地域の病院・高齢者施設・地域包括支援センター等へ陽性者が出た

ことを報告する。

3月29日(火) 入居者様・職員全員PCR検査実施。

3月30日(水) PCR検査の結果、全員陰性。

入居者ご家族様へ全検査の結果、全員陰性であったこと報告する。

4月3日(日) 自宅療養期間が明け、当該職員出勤する。

関係各所へ収束したことを報告する。

#### ⑰ ボランティア登録・実施人数関係

※1 個人5名 (ハーモニカ1名・手品1名・アコーディオン1名・清掃、調理補助1名  
ハンドマッサージ1名)

※2 団体10 (ペンペンカフェ、オカリナティアーモ、土笛コスモス、傾聴ボランティア  
心耳の会、カラオケピカフレンズ、日野ハーモニカクラブ、シニアアンサン  
ブルハートランド、レガート、ハーモニカ【竹前さん他】)

※ペンペンカフェボランティア: 地元近隣にお住いの女性メンバー6名が、ボランティアグル  
ープを結成し、隔週の水曜日の午前10時からペンペンカフェにて喫茶ボランティアを実施  
(毎回3名で実施)

#### ボランティア来所人数&実施内容

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2月25日よりボランティアの受け入れを一  
切中止している。

#### ⑱ 手作りおやつ (ふうちゃんのおやつクッキング)

※栄養士の職員による入居者参加の交流おやつづくりの会 (※概ね月に2回開催予定)

開催日: H31/4月4日、令和元年5月28日、6月19日、7月4日、7月30日、9月3日、  
9月17日、10月4日、10月29日、11月6日、12月4日、12月16日、令和2年1月16日  
1月27日、2月6日、2月17日

(新型コロナウイルス感染予防による施設立ち入り制限中のため休止中)

#### ⑲ 提携医 定期往診

※松澤内科クリニック 松澤先生による定期往診 毎週火曜午後1時30分～

#### ⑳ オンコール代行

※ドクターメイト株式会社 (令和3年3月1日～)

24時間施設の医療をサポートしてくれるサービス。夜間のオンコール代行と  
日中の医療相談が可能。

#### ㉑ 外部機関による訪問マッサージ利用

※1 医療保険対応 「臥竜の里 訪問リハビリ指圧治療院」3名利用

※2 医療保険対応 「タケフシ鍼灸整骨院」1名利用

(1人週2回、リハビリやマッサージ等の実施)

#### ㉒ 出張理容サービス関係

※1 提携理容 青木理容様 出張理髪サービスの利用 (月に1回実施)

※2 シスター美容室 (青木理容の都合により依頼)

※3 髪や (カラー、パーマを希望される方がいるときに依頼)

**㉓ 出張販売（ファミリーマート様）**

令和元年6月9日、7月28日、11月24日、12月18日、令和2年1月15日、2月18日、  
3月19日（新型コロナウイルス感染予防による施設立ち入り制限中のため休止中）

**㉔ 施設内ミニ売店設置事業実施（毎日）**

希望のある嗜好品を中心とした食品（菓子類や飲料）をワゴン販売により実施。

**㉕ 研修生受け入れ（須坂看護専門学校）**

※ 臨地実習（老年看護学実習Ⅰ）

① 9月13日～15日 2年生3名

② 9月27日～29日 2年生3名

**㉖ 消防・設備点検**

※1 6月 8日 消防設備点検（能美防災）

※2 9月 8日 消防設備点検（能美防災）

※3 11月 14日 浴室カビ予防工事（十字屋リース）

※4 11月 28日 電気設備点検

※5 3月 4日 消防設備点検（能美防災）

**㉗ 発電機設置工事**

※1 令和4年1月11日より開始

※2 2月 25日 発電機搬入据付工事

※3 3月 9日 市役所立ち合い発電機検査

※4 3月 18日 本体施設、発電機接続運転

**㉘ 空きショートステイ導入の取り組み**

※1 特養の空きベッド（入院や外泊期間中）を使用したショートステイの受け入れを  
令和4年4月1日から開始できるよう、現在準備を行っている。

※2 3月24日 ショートステイ現地調査

※3 3月29日 短期入所生活介護及び介護予防短期生活介護 の指定許可を受ける。

※4 5、6月中 各ユニット会議にて、職員への周知。受け入れ準備

※5 7月 受け入れ開始予定

**㉙ 職員の入退職者**

※1 非常勤職員1名退職（〇月）

#### 4 役員等の状況（令和 3 年 3 月 31 日現在）

役職（理事）	氏 名
理事長	徳竹 順一（とくたけ じゅんいち）
※ 理 事（業務執行理事）	駒澤 貞弘（こまざわ さだひろ）
理 事	丸山 尊（まるやま たかし）
理 事	神屋 初枝（かみや はつえ）
理 事	和久井 進（わくい すすむ）
理 事	小出 豊（こいで ゆたか）

※ 業務執行理事 理事長に事故等ある時は、代わりに業務執行を担う職務代理者

役職（監事・評議員選任・解任委員）	氏 名
監 事	倉石 浩芳（くらいし ひろよし）
監 事	高橋 芳子（たかはし よしこ）
役職（評議員）	氏 名
評 議 員	羽生田 豊雄（はにゆうだ とよお）
評 議 員	森泉 完志（もりいずみ ひろし）
評 議 員	青木 茂子（あおき しげこ）
評 議 員	羽生田美奈子（はにゆうだ みなこ）
評 議 員	宮下 昌雄（みやした まさお）
評 議 員	竹前 美由紀（たけまえ みゆき）
評 議 員	青木 清治（あおき きよはる）
役職（評議員選任・解任委員）	氏 名
評議員選任・解任委員	菅沼 和男（すがぬま かづお）
評議員選任・解任委員	増山 哲郎（ますやま てつろう）
役職（第三者委員 入居判定委員）	氏 名
第三者委員 入居判定委員	中嶋 則子（なかじま のりこ）
第三者委員 入居判定委員	竜円富美子（りゅうえん とみこ）